

けやきの風

くらしのアンケート2023年

回答に対する「改善要望箇所を視察アンケートのご意見・ご要望欄などに寄せられた。改善要望力所などの現地を見てきました。」

道路の傷み

一、道路の傷み（湖北台1の1の1地先）



「何回も市に言っても穴を埋めるだけで、何日かすると、また大きな穴になっている現場を見て欲しい」現地をみると写真の様にデコボコが有りました（写真①）。

横断歩道の設置

一、湖北台団地とマツキヨの間に横断歩道設置（写真②）



「以前から要望があったところで、比較的近くに横断歩道があるため、実現されていないとのこと、高齢化社会に対応した改善が必要ではないかと感じました。一、ビッグAと団地の横断歩道に信号設置（写真④）この場所も比較的近くに信号が設置されているため、難しいとされている場所です。」

街灯の整備

一、「湖北駅から東側、仕事帰りに歩くと暗くて怖い（街灯整備）」（写真⑤）



一、「湖北駅から東側、仕事帰りに歩くと暗くて怖い（街灯整備）」（写真⑤）夜と昼間の2回見ましたが、街灯が並木の間、光が届かないところや街灯が枝

日本共産党湖北台
後援会連絡所
早川 7149-0322
小野 7187-0203
鈴木 7139-3421

草やツタの撤去

で全く見えないところもありました。至急対応を岩井議員に要請。

す。歩行者優先で隣の信号との連動にすれば、可能性はあるのでは。歩行者優先で道路行政の見直しが必要かもしれません。

一、湖北台中学校の信号の手前の住宅街を通る車のスピードでおり危険（写真なし）場所の特定が出来ませんでした。近くの居住者からのアドバイスで場所を推定。

一、コンクリート製の大型



5月3日の毎日新聞の調査では改憲反対が賛成を大きく逆転。昨年4月の同調査では反対31%、賛成44%で、現政権下での改憲に反対：47% 賛成：35%

4月の統一地方選で日本共産党は「大軍拡NO!」「敵基地攻撃は憲法違反」「戦争で日本が焦土に」など地方選の課題と共に正面から訴えてきた。

5月7日の共同通信の調査では・増税を軍拡財源にすること、支持する：19%、支持しない：80%

5月7日の共同通信の調査では・増税を軍拡財源にすること、支持する：19%、支持しない：80%

5月7日の共同通信の調査では・増税を軍拡財源にすること、支持する：19%、支持しない：80%

街路樹 一国の安全保障の一番大切なのは軍事力ではなく食料とエネルギーであり、この二つを自給できる方向で取り進むことが最大の課題だ」と寺島実郎氏（「世界を知る力」）は言うが全くが同感である▼G7の中で6位のイタリアでさえ58%の食料自給率（カロリーベース）、日本は38%と際立って低い▼原発より単価の安い太陽光発電、風力発電を軽視し危険な原発依存体制を長期化しようとするエネルギー政策は亡国への道であるというが（古賀茂明氏著「分断と凋落の日本」）同感である▼昨年の貿易収支は過去最大の18兆円の赤字で、一昨年の15.4兆円とで二年間に3.4兆円が外国に消えた。食料品の高騰、石油天然ガスなどエネルギーの高騰が要因である▼食料とエネルギーの自給率を高めるために世界各国が全力を挙げているときに、日本は5年間で軍事費に43兆円も税金をつぎ込むとしている▼共同通信の調査（5/9）で「岸田内閣が狙う5年間で43兆円の大軍拡：適切でない58%、適切39%」と大きく逆転した。「軍事費を増やして国滅ぶ国日本にはほらない」との思いの人が増えつつあることに確信を持ち、さらに努力したいと思う（編S・A）

※湖北台後援会「けやきの風」のニュースは、読者のみなさんのカンパで発行しています

ズバリ「G7広島サミット」の本質を語る

— 金平茂紀「BS元キヤスター」講演会 —



5月27日、我孫子市民プラザで金平茂紀元TBSキヤスターの講演会に200名強の参加者がありました。講演は三つのテーマで、最初に長年の交流のあった

故人で音楽家坂本龍一氏が死の直前に神宮外苑再開発で自然を破壊しないことを手紙で小池知事に訴えたのに返事がない事への怒り。二つ目に「七・八事件」と名付けた昨年7月8日安倍元首相殺害で国民が知らなかつた旧統一教会と国会・地方の議員とのゆ着の実態

が明らかにされたこと。しかし、ロシアのウクライナ侵略を利用してこの問題を軍事拡大とからめ今日では三つ目に「G7広島サミット」はG7参加国の核は容

身勝手なサミット「広島ビジョン」

主要7ヶ国首脳会議

(G7広島サミット)で発表された「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」は、大手メディア(テレビ、新聞)はほぼ成果があつたと評価しています。

しかし、一方では、その成果文書について「核兵器禁止条約」成立の推進者であり、カナダ在住の被爆者であるサーロー節子さんは「何も新しい

ものが無い。胸がつぶれる思いだ」と語りました。また、多くの被爆者から「広島で開きながら自国の核保有を認め、他国に核を廃棄せよはない」などの発言があります。正にG7首脳の身勝手な成果文書を世界に発信しただけの広島サミットであり、大変危険な方向だと言えます。日本共産党が主張する「外交努力」で平和を築くことこそ本流となるべきです。(I・O)

古戸稲荷神社を訪ねて

陣の内 外側

湖北駅から徒歩約30分。国道356号を新木方面へ。新聞販売店を左折。農地に住宅地が散在する道を直進。突き当たりを右折し、暫くすると左手に鳥居が見えます。ここが稲荷神社です。「祭神 稲倉魂命 天正七年(1579)七月七日古戸村産土(うぶすな)として創建された。もと古戸村流作一二に鎮座したが、江戸時代になって阿曾新兵衛家の屋敷地に文化年間(一八〇四〜一八)に遷座したと伝える。(明治年間に)新築された外陣(げじん)と寺社

で、人々が礼拝するところ。奥の左右の壁に狐の鰻絵(こてえ)がある(写真)。その壁は高さ一六四cm、幅一五四cmのかなり大きな壁面で、鰻絵は各種の色土を用いた力作であるが、残念ながら鰻絵師の名は知られていないようである。(我孫子市史)とあるので、今回、入口の格子戸のすき間から写真を撮ったものです。境内には「富士登山の祈念碑や伊勢神宮参拝祈念碑」などの石碑があります。また、手水鉢には「文化〇〇(判読不能)年、反対側に古戸

村氏子中」とあります。石の鳥居の柱の後ろ側には「慶応三卯年」と刻まれています。神社境内の入口付近に道案内の石柱があり、「湖北停車場中里船渡場」「茨城県小文間」と読める文字があります。古戸は文字通り歴史のある



地域であつたことがわかります。(里)

市政ふれあい懇談会

5月20日(土)、5年(令和7年)完成、翌年現在署から移転運用開始予定が公表されました。その後、意見交換が

「市政ふれあい懇談会」が市長、各部長の出席のもと湖北台近隣センターにおいて開催されました。あり、参加者住民から地星野市長から令和5年度の実施事業の①湖北消防署整備事業 ②下ヶ戸・中里の道路整備 ③中峠・古戸の道路整備 ④その

他の概要説明があり、湖北消防署は、202

芸芸欄

短歌

虚偽自白の誘惑退け「やつちよらん」と闘いしに、また再審ならず (大崎事件) 七丁目 山野 美津

花の姿色にも深く魅せられてコチヨウランに日々支えられ生く 五丁目 鈴木 明

俳句

山道を下れば先は麦の秋

人影に颯振り向く田圃道

三丁目 松永美恵子

四丁目 松風 彦左

川柳

ミサイルは狼の声日本海

四丁目 松風 彦左

※寄稿・投稿をお待ちしています

政治革新の道しるべ、真実をつたえ希望をはこぶ新聞です

しんぶん赤旗

日刊紙●月 3497円
日曜版●月 930円
※こちらから申し込みます
日本共産党本部QRコード→



我孫子市議団ホームページ

(https://jcp-a-biko.com/)



※法律相談(相談無料)・岩井事務所にて毎月第4木曜日(2時〜4時)開催しています(事前に「ご連絡ください」047-188-2141)